



子どもに心配されて、免許返納をしたお年寄りが、この団地に多くいます。食料の購入や病院に行ければ、生活には困らないように思っていますが、車を持たないことが、

その方々の生きがいを奪ってしまうということが分りました。

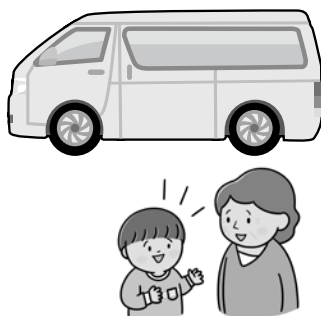
団地に住むお年寄りの方は、ほとんど毎日誰とも話すこともない生活をしていま

す。時々、同じ境遇のおばあちゃんと一緒に、リュックを背負って、時間を合わせ「ぐるっと松本」に乗って買い物に行ったり、病院に行ったりして「のるーと松本」に乗って帰って来るとのことでした。友達と話しを元気になることと話されていま

「のるーと松本」に乗ろう！



世帯数 6,213戸
人口 13,667人
(令和6. 5. 1現在)



した。特に、冬は外にも出られないので大変うれしいようです。もし、これが廃止されれば、外に出られない生活になってしまうことで、不安が大きいと話されていました。今では、行くお店も限られています。『のるーと松本』では、コモ庄内の方まで行けるようになります。楽しさも増すと話されておられました。

【竹原町会民生委員 金井環】



令和6年度寿公民館関係役員・職員紹介

寿公民館運営委員

委員長 宮沢 茂

(町会連合会会長・下瀬黒町会長)

副委員長 長峰 義岳

(町内公民館長会長・白川公民館長)

会 計 朝比奈 忠男

(町会連合会会計・豊町町会長)

委員

伊藤 正敬 (赤木町会長)

田中 光雄 (小池町会長)

伊藤 浩一 (百瀬町会長)

百瀬 広明 (白川町会長)

平林 政幸 (白姫町会長)

小澤 隆一 (上瀬黒町会長)

南澤 敦子 (竹淵町会長)

宮澤 康弘 (寿田町町会長)

北林 育明 (寿田川町会長)

青木 義和 (赤木公民館長)

林 利雄 (小池公民館長)

平澤 芳信 (百瀬公民館長)

古畑 準一 (白姫公民館長)

多田 金穂 (上瀬黒公民館長)

塩原 秀治 (下瀬黒公民館長)

武井 忍 (竹淵公民館長)

根本 富雄 (豊町公民館長)

伊勢 文雄 (寿田町公民館長)

宮下 貢 (竹原町公民館長)

柴田 充 (寿田川公民館長)

濱 俊博 (民生児童委員協議会会長)

大池 育江 (主任児童委員)

竹淵 那美 (主任児童委員)

青木 敏和 (館報編集委員長)

林 啓 (体育委員長)

藤池恵美子 (図書委員長)

室賀 正 (視聴覚委員長)

中山 自子 (食生活改善推進協議会会長)

桑原 大祐 (寿スポーツ協合理事長)

町田 英明 (寿小PTA会長)

坂口 杏奈 (寿小PTA副会長)

青木 晴章 (寿小PTA副会長)

近藤めぐみ (並柳小PTA支部長)

小口 雅恵 (開成中PTA支部長)

山下 治夫 (寿子ども会育成会会長)

朝比奈忠男 (交通安全協会寿支部長)

原 和章 (消防一六分団長)

入 和希 (村井・寿交番所長)

羽田野千帆 (寿地区地域づくりセンター長)

福島 浩明 (寿地区地域づくりセンター長補佐)

館報編集委員

板野 寛明 (赤木町会)

青木 敏和 (小池町会)

宮腰 富夫 (百瀬町会)

小澤 信貴 (白川町会)

須山 寿雄 (白姫町会)

百瀬 弘規 (上瀬黒町会)

杉浦 澄枝 (下瀬黒町会)

滝沢 新 (竹淵町会)

八木沼康子 (豊町町会)

関 尚子 (寿田町町会)

高田 江美 (竹原町町会)

山口 雄二 (寿田川町会)

寿公民館

公民館長 久保田文章

公民館主事 丸山 稜雅

生活支援員 古條 愛

公民館併任 樋口 真奈

わがまち どうなの？ 〈竹原町会〉

竹原町会では、市営住宅のみの町会です。

世間で話題になっている少子高齢化がぴたりとあてはまる町会なのです。小学生は10人もいないのです。その反面、高齢者の割合が多く、一人暮らしが増えている状況です。

離れて暮らす家族から、車の運転を心配され、免許返納を勧められ、車の無い生活を送らなくてはならない世帯や、持病と付き合っている世帯など、不安を抱えている方が多くなっています。

寿地区で試験的に実施されている「のーと松本」を利用して、買い物や病院に行きやすくなりました。リュックを背負ってスーパールに行けるようになり、安心でき、喜ん

でいる方もいます。

車に頼った生活からの切り替えは、非常に不安で仕方ないと思います。「のーと松本」を必要とする人が増えていき、継続されることを望んでいる方が多いようです。

四月から十一月までの毎月一回、朝清掃・草刈りを行っています。その時に顔を合せて安否確認をしているような感じです。草の勢いがある時には大変な作業となっています。

町会での環境整備は、必要なことであり、協力し合うことは大事なことです。

子どもの人数も少ないため、行事をするのも難しくなっています。高齢者の一人暮らしでも不便なことがたくさんあると思います。一日中、誰とも会話をしなかったり、交流の場も無かったりするのが現状です。

自分たちの生活の場でもある町会とのつながりを強め、いつ災害が起きるかわからないので、お互いに助け合いながら安心して暮らしていけると「いいな」と思います。

【館報編集委員 高田江美】

令和6年度寿地区 主要事業日程

今年度も地区住民の皆さんが主体となつて様々な行事や事業が計画されています。地区の行事の主役は、そこに住む地域の皆さんです。寿公民館をはじめとした各団体も協力しますので、一致団結して地域を盛り上げていきましょう。各行事の詳細については「ことぶき公民館だより」等にてお知らせしていきます。

- 6月30日(日)第77回球技大会
- 9月1日(日)第17回子連れコンサート
- 9月18日(水)第13回福祉の文化祭
- 10月8日(火)ふれあい会食会
- 10月13日(日)スポーツフェスティバル (旧住民運動会)
- 10月26日(土)第36回史跡めぐり
- 10月27日(日)防災訓練・避難所開設訓練 (寿小学校体育館)
- 11月3日(日)第47回文化祭
- 1月6日(月)新年祝賀会
- 3月5日(水)地域づくりを語る会

【寿公民館】

令和6年度 新職員あいさつ

寿公民館長
久保田 文章

- ① 学校現場
- ② 少しでも早く仕事を覚え、地域の皆様のために役に立てるようになりたいと思います。
- ③ 菜園づくり、芝刈りなど多趣味

- ① どこから異動してきたか
- ② 今後の意気込み
- ③ 趣味

寿地区担当保健師
秋元 あゆ美

- ① 中山地区
- ② 皆さんと一緒に楽しみながら取り組んでいきたいです。
- ③ ピアノ、ウクレレ

寿地区地域づくりセンター
森田 耀子

- ① 中央公民館
- ② 早くお仕事を覚えられよう頑張ります。
- ③ 食べる

